

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)							
事業名	青少年の体験活動の推進		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者	
事業開始年度	平成23年度		担当課室	青少年課		青少年課長 勝山 浩司	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-3. 青少年の健全育成			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定) 子ども・若者ビジョン(平成22年7月23日子ども・若者育成支 援推進本部決定)			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	次代を担う青少年の育成を図るため、家庭や企業などへ体験活動の理解を求めていくための普及啓発を実施するとともに、自然体験活動の教育効果を高めるため、また、青少年が安全で安心な体験活動を行えるよう、自然体験活動の指導者養成を図り、もって地域や家庭及び企業における体験活動の取組を促進し、青少年の体験活動の一層の推進を図る。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	青少年の体験活動の推進を図るため、家庭や企業などへ体験活動の理解を求めていくための普及啓発に取り組むとともに、自然体験活動の指導者養成、体験活動の場の在り方に関する調査研究協力者会議を実施。 ① 全国的な普及啓発の実施 ア. 青少年の体験活動の必要性・重要性を広く家庭や社会に発信。 イ. 青少年の体験活動の推進に寄与する団体間の連携促進。 ② 自然体験活動指導者養成事業 農山漁村における農業体験や自然に親しむ自然体験活動等の教育的効果を高めるとともに、青少年が安心・安全に体験活動を実施できるための指導者を養成。 ③ 体験活動の場の在り方に関する調査研究協力者会議 我が国の青少年の体験活動を一層推進するため、その活動の場として中心となる青少年教育施設のあるべき姿や適正な配置について						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算				108.5	97.2
		補正予算					
		繰越し等					
		計				108.5	97.2
	執行額						
執行率 (%)							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (一年度)
	学校以外の公的機関や民間団体等が行う自然体験に関する行事に参加した子ども(小学1年生～6年生)の割合(対前年度比)	成果実績 達成度	%				対前年度比以上
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	① ア. フォーラムの開催	活動実績 (当初見込み)	回	—	—	—	— (2回)
	イ. 複数団体の連携による「生活体験学校(6泊7日)」の実施		回	—	—	—	— (1回)
	② 自然体験活動指導者養成人数		人	—	—	—	— (4500人以上)
	③ 協力者会議の開催回数		回	—	—	—	— (6回)
単位当たり コスト	1, 104, 300(円/回)	算出根拠	① ア. フォーラムにかかるコスト(平成23年度予定) X/Y=1,104,300(円/回) X:2,208,600円(フォーラムにかかる経費の予算額) Y:2回(フォーラムの開催予定回数)				
	2, 048, 700(円/回)		イ. 「生活体験学校」にかかるコスト(平成23年度予定) X/Y=2,048,700(円/回) X:2,048,700円(生活体験学校にかかる経費の予算額) Y:1回(生活体験学校の実施予定回数:6泊7日を予定)				
	15, 583(円/人)		② 自然体験活動指導者養成事業にかかるコスト(平成23年度予定) X/Y=15,583(円/人) X:87,200,000円(当該事業委託予算額) Y:5,596人(養成見込人数)				
	386, 767(円/回)		③ 体験活動の場の在り方に関する調査研究協力者会議にかかるコスト(平成23年度予定) (X-Y)/Z=386,767円 X:3,219,000円(当該事業予算額) Y:898,400円(施設調査旅費)※2施設×10回 Z:6回(協力者会議の開催回数)				

平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
	諸謝金	1百万円	0.3百万円	
	職員旅費	1.2百万円	0.3百万円	
	委員等旅費	2.1百万円	0.5百万円	
	庁費	6.5百万円	6百万円	
	初等中等教育等振興事業委託費	97.7百万円	90.1百万円	
	計	108.5百万円	97.2百万円	

事業所管部局による点検

	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	委託事業の選定に当たっては、企画評価委員会を設置し、本事業の推進方策等を検討した上で、委託事業を選定した。		

予算監視・効率化チームの所見

	<p>本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。</p>
--	---

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）

--

補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

--

※当該資金の流れは、予算積算場において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

諸謝金	1百万円	} 含む
職員旅費	1.2百万円	
委員等旅費	2.1百万円	
庁費	6.5百万円	

文部科学省
108.5百万円

学識経験者、青少年団体関係者等で構成される企画評価委員会を設置し、委託事業の採択をはじめ本事業の推進方策等を検討する。また、我が国の青少年の体験活動を一層推進するため、その活動の場として中心となる青少年施設のあるべき姿や適正な配置の調査研究協力者会議を実施

【公募・委託】

A. 全国的な普及啓発の実施

民間団体、都道府県等
(全2団体 10.5百万円)

家庭や企業などへの体験活動の理解を求めていくための普及啓発を実施。(フォーラム(全国2カ所)、複数団体の連携による生活体験学校の実施)

【公募・委託】

B. 自然体験活動指導者養成事業

民間団体、都道府県等
(全25団体 87.2百万円)

農山漁村における農業体験や自然に親しむ体験活動等の教育的効果を高めるとともに、青少年が安心・安全に体験活動を実施できるための指導者を養成。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.民間団体、都道府県等			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	@6. 6百万円×1団体 @3. 9百万円×1団体	10.5			
計		10.5	計		0
B.民間団体、都道府県等			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	@3. 488百万円×25団体	87.2			
計		87.2	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)